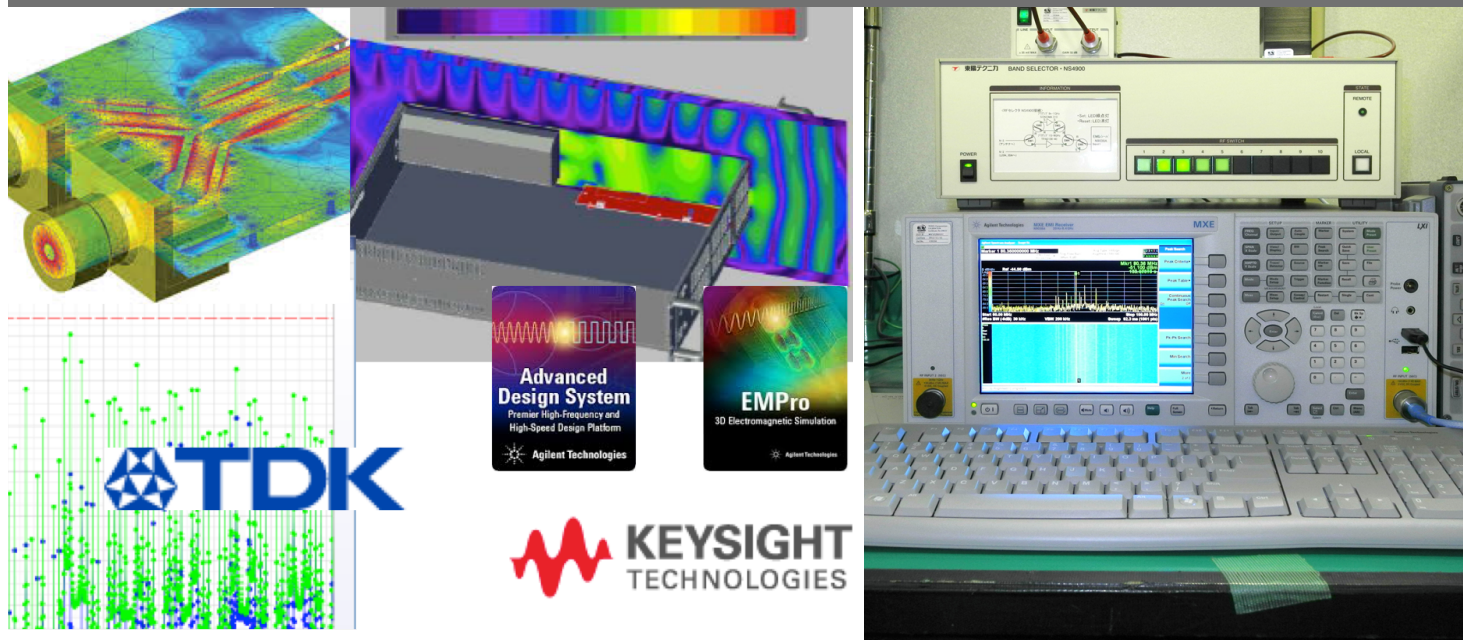


主催：電子情報通信学会 北海道支部 / 北海道立総合研究機構 工業試験場

協力：苫小牧工業高等専門学校 情報工学科、(公財)函館地域産業振興財団 北海道立工業技術センター  
専門講習会

「聴いてるだけじゃつまらない!?

身をもって知るEMC最新技術と対策」



電子情報通信学会北海道支部および北海道立総合研究機構工業試験場の共同主催事業として、電気・通信に関連する最新のEMC(電磁環境両立性：Electro-Magnetic Compatibility)評価/対策技術について、産業界および大学、それぞれの立場から研究・技術の動向を紹介する専門講習会を開催致します。

EMC問題にあまり関心が無い学生の方から、実際に製品開発を行いEMC対策に取り組んでいる企業技術者の方まで、幅広く興味をもってご参加頂けるように企画した講習会です。EMC対策に関連する電磁界シミュレーションおよび実験測定の最新の技術動向に接することのできる貴重な機会になります。

みなさまのご参加をお待ちしております。

- ▶ 参加費：無料
  - ▶ 定員：60名 (お申し込み 先着順)
  - ▶ 場所：北海道立総合研究機構工業試験場
  - ▶ スケジュール (一部、変更が生じる場合があります)
- 12:30：受付開始  
13:00：開会挨拶：電子情報通信学会 北海道支部  
13:20-14:00：「植込み型医療器EMI(電磁干渉)測定評価の最前線」  
北海道大学 大学院情報科学研究科 野島俊雄 特任教授  
14:00-14:40：「EMC測定規格動向と最新測定装置・技術の紹介」  
キーサイト・テクノロジー合同会社  
14:40-15:00： 休憩  
15:00-15:40：「なぜ効かない!基礎から見直すEMC対策部品の使用例」  
～EMC対策部品を使ってもノイズが落ちない3つの理由～  
TDK株式会社  
15:40-16:20：「EMCを考慮した基板設計」  
～電磁界シミュレータを活用したノイズの見える化～  
キーサイト・テクノロジー合同会社  
16:20-17:00：「北海道内のEMI測定サイトと、測定事例のご紹介」  
北海道立総合研究機構、北海道立工業技術センター  
17:00-17:20：「Q&Aタイム」 ～日頃の疑問にお答えします～  
17:20：閉会挨拶：北海道立総合研究機構  
(講習会終了後、懇親会を予定しています)

**開催日：2014年11月27日(木)**

お申し込み方法および各講習内容は裏面をご覧ください→

# 講習会内容のご紹介

## 学術講演「植込み型医療器EMI(電磁干渉)測定評価の最前線」

北海道大学 大学院情報科学研究科 野島俊雄 特任教授

携帯電話やRFID、万引防止装置等の電波による植込み型医療器（心臓ペースメーカ/ICD）の電磁干渉問題とその評価技術について講演します。ペースメーカ実機を用いた具体的評価例や電磁界シミュレーターによる評価法まで、最新の研究動向を紹介いたします。

## 「EMC測定規格動向と最新測定装置・技術の紹介」

キーサイト・テクノロジー合同会社

昨今、デジタル機器の電子回路複雑化により、種類、規模を問わず、EMIへの対応の必要性が高まっています。電子機器の内部干渉(自家中毒)の問題、国際規格のCISPRも規制も改定され、EMIは避けて通れないものとなっています。本セミナーではそのデジタルエンジニアが知っておくべき規格および違った観点から見たEMI測定(プリコンプライアンス)について多種機器を使ったノイズの評価手法を紹介いたします。また、最新EMIレシーバの拡張機能も紹介いたします。

## 「なぜ効かない！基礎から見直すEMC対策部品の使用例」 ～EMC対策部品を使ってもノイズが落ちない3つの理由～

TDK株式会社

EMC対策部品を薬に例えて、陥りやすい内容を3つの理由に例えて、事例を紹介しながら解説いたします。

## 「EMCを考慮した基板設計(電磁界シミュレータを活用したノイズの見える化)」

キーサイト・テクノロジー合同会社

近年、EMCを考慮した基板開発が重要になり、基板設計段階より、シミュレーションを利用した効率的な検証が必須になっています。本セッションでは、初めに、これまで電磁界シミュレータに馴染みのない方向けに、電磁界解析の基本的な考え方や解析フローを簡単にご紹介した後、差動伝送線路、DC/DCコンバータなどを例に、電磁界シミュレータでのEMC解析事例をご紹介します。

## 「北海道内のEMI測定サイトと、測定事例のご紹介」

北海道立総合研究機構、北海道立工業技術センター

北海道立総合研究機構 工業試験場では、平成11年に小型電波暗室を導入、平成21年にギガヘルツ帯対応の改装工事、平成24年には最新型のEMIレシーバを導入するなど、最新規格に対応した測定設備の更新と測定技術向上を行ってきました。本セッションでは工業試験場、ならびに北海道立工業技術センター(函館地区)の設備を紹介するとともに、電波暗室の見学を行います。

## 会場案内

北海道立総合研究機構 工業試験場 研究棟1階 研修室

電話：011-747-2946 HP：<http://www.iri.hro.or.jp/>

北海道札幌市北区  
北19条西11丁目  
TEL 011-747-2321(代表)  
FAX 011-726-4057

**15分**  
徒歩  
■地下鉄市営南北線「北18条駅」より徒歩約15分(約1km)。  
※エルムトンネルの上を通る「地上遊歩道(赤い線)」をご利用ください。

**5-15分**  
タクシー  
■タクシーをご利用の場合  
①地下鉄市営南北線「北18条駅」より約5分。  
②「JR札幌駅北口」より約15分。

**自家用車**  
■自家用車の場合のご注意  
新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からのみ、お入り頂けます。  
※地下鉄北18条駅側から来られる場合は、「エルムトンネル」を通る経路(青い線)をご利用ください。



## 参加申込み方法&お問い合わせ先

- (1)参加者氏名,
- (2)勤務先または学校名,
- (3)連絡先Tel・E-mail,
- (4)電子情報通信学会(会員番号)/会員外の別
- (5)懇親会参加希望の有無(可能性がある場合は有としてください)

を明記の上、電子情報通信学会北海道支部宛 E-mailでお申し込み下さい。折り返し「申込確認」を返信させていただきます。

E-mail：[senmon2014@hokkaido.ieice.org](mailto:senmon2014@hokkaido.ieice.org)

申込締切：2014年11月20日(木) 午後5時

お問い合わせ先：

電子情報通信学会北海道支部

庶務幹事 日景隆

Email:[hikage@wtmc.ist.hokudai.ac.jp](mailto:hikage@wtmc.ist.hokudai.ac.jp)